

やた はな組

2014年6月20日(金)

～ 第1回「体験してみよう！ホワイトボードケース会議」 ～

矢田圏域ケアマネ勉強会「やたはな組」を矢田中ひまわり会館にて開催しました。

「ホワイトボードケース会議」の3回講座の第1回目「体験してみよう！ホワイトボードケース会議」を行ないました。

講師は、2月の勉強会にもご協力いただいた「ホワイトボード・ミーティング(WBS)高齢者支援チーム」から、現任のケアマネでもある神田先生、船越先生を講師にお招きし講義を受けました。



→ ホワイトボードに書き込んで、参加者と話し合いながら、本人や関係者の思いや環境などを整理、アセスメントから課題の共有化を学び、どうしたいか、どうなれば良いと思うか改善策を考えました。



次にダミーの事例を用いてアセスメント分析スケールを使い、個人ワークで優先順位意を意識しながら、情報の分析について考え、グループにてワークの気づきについて、振り返りを行ないました。



最初に講師から、会議の概要やファシリテーターの役割について解説。次に講師がファシリテーターとなり、地域包括からの事例を使って本人、家族および関係者のアセスメントを



ワークを終えてみると書き出すことで、本人を中心とした問題の整理や気づきができたと、アセスメントの再確認や情報の共有につながりました。



みなさんの感想

情報のまとめ方や、多人数の人が同じ情報を共有する際にとっても役に立つと実感できました。

可視化することで、流れが把握でき、整理がしやすかった。方向性がずれずに参加、共有できるツールだと思いました。

聴く、書く、プロセスをつくる、を意識してやってみたい。etc.

ホワイトボード・ミーティング(WBM)は参加者の力が活かされる効率的、効果的な会議の進め方の1つです。2003年にちょんせいこ(株式会社ひとまち)が開発し、多様な地域や領域で取り組まれています。【参考図書】「元気になる会議～ホワイトボード・ミーティングのすすめ方」(解放出版社) <http://wbmf.info>

「ホワイトボード・ミーティング(WBM)高齢者支援チーム」の神田先生、船越先生、ご協力いただいた矢田中地域福祉コーディネーターさん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございました。

次回「第2回目 WBM 講座」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!